

使っている花 ■ アストランチア(ローマ、スターオブベリオン)、アルケミラロブスター、スプレーカーネーション(ミニティアラミルク)、ゼラニウム

5月
May



アストランチア

花言葉 愛の渇き／知性／星に願いを

無数の星がまたたくように咲く小花
美しいグラデーションをテーブルに

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 花が咲きすぎている、茎、葉の色があせていないものを選びましょう。
- 飾る際は、水切り(＝水の中で茎を斜めにカット)してから生けましょう。
- もし花首が垂れてしまったら、新聞紙などで花全体をしっかりと包んで茎を切り戻し、沸騰した湯に10秒程度つけてから、深めの水を入れた器にしばらく入れておくとシャキッとします(この方法を「湯あげ」といいます)。
- 切り花栄養剤を使用すると長く楽しめます。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① 浅めのバスケットの中に、ジャムの空き瓶やグラスなどを複数個セットし、それぞれに切り花栄養剤を正しく希釈した水を入れます。
- ② アストランチアほか花材すべて、あらかじめ小分けに短くカットします。水につかる部分の葉は取り除きましょう。
- ③ バスケットに敷きつめるように、小花をミックスしながら生けていきます。初夏の草原のきらめきのように、明るい黄緑色のアルケミラロブスターを散りばめると素敵です。

草原に咲く小さな星たち

ギリシャ語で「星」を意味する「Astra(アストラ)」が語源。ナチュラルな草姿とアンティーク調の色合いが美しいヨーロッパ原産のセリ科の花です。日本では主に高冷地で栽培され、初夏に最盛期を迎えます。アフリカ産の輸入もさかんで通年入手が可能になり、ドライフラワーにもなることからさらに人気の草花に。

